

石垣市家庭教育支援チーム広報紙

希(き)杜(ず)南(な)

希：希望に満ちた家庭
杜：島を守る緑豊かな杜(神聖な森)
南：南ぬ島(ばいぬしま)石垣島

【発行目的】

- 支援チームの活動報告と家庭教育に関する
- 情報の提供を行い、青少年の健全育成に資する。

【連絡】



石垣市教育委員会 (いきいき学び課)
沖縄県石垣市美崎町16-6
TEL 0980-83-0373
FAX 0980-83-9251
Eメール:kyo-manabi@city.ishigaki.okinawa.jp

石垣市家庭教育支援事業 一口ミニ講話 ~ ①聴く・聞く / ②躰 / ③オノマトペ ~ 講師：石垣市家庭教育支援サポーター 宮良 博之



①「聴く・聞く」の文字から学ぶ家庭教育

大きな耳 → **聴**
十四の心で聴く

- 聴くことは、心から傾聴する態度である。
- 美しい心・新しい心・広い心 最後は、ありがとうの心で聴く。
- 十四の「四」を立てて見ると、「目」になる。心を込めて、心の目で見て感じて聴くことが非常に大切である。

聞

耳は門の中にある

- 門を閉じると聞こえにくい。
- 門が開いていても聞き流す・聞き漏らす 聞き漏らすなどがある。

子育て

心ここにあらざれば、見るもの見えぬ。聴くのも聴こえず。心ここにあらば何ごととも見え、しっかり聴こえる。「態度・表情・顔つき・手の動き・息遣い」子育ては、心を配り、子どもの声を聴く親になろう！

②「躰(しつけ)」から学ぶ家庭教育

しつけ糸紹介

躰

しつけとは、裁縫で布を縫った後、しつけ糸でしつけをするところからきている。しつけをするというのは、布を縫ったあとの襷(ひだ)にアイロンをかけると布の素材がもつ風合いを損ねてしまう。美しくそこで縫い目にそって、布を折ったところに糸を掛けてソッと押さえ、折目に従って、形・方向を誤らず、布のもつ素材のよさを生かすのがしつけである。家庭教育では、子どもの持ち味や子どもの中から出てくる要求を潰してしまうことなくきちんと折目のある方向づけが大事である。



③「オノマトペ」から学ぶ家庭教育

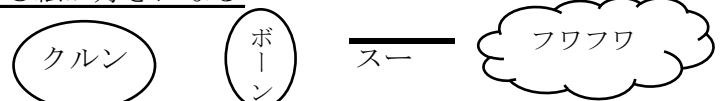
○オノマトペって何？

- ことばでコントロールするのではなく、声でコントロールする。(擬音語、擬態語)
- 「シャキ」としなさい! 「ピン」としなさい!
- 「シーン」となる。「シュッ」となる。

○字がきれいになる

- 線を「スーッ」と書く。直線や曲線、点などが構成されている字、真っ直ぐきれいに引くことで文字全体がきれいに見える。

○絵が好きになる



大好きなキャラクターを→自分の手で描くことができた→子どもは大喜び→絵を描くことが楽しくなり→たくさん描く→技術が磨かれ→モチーフをよく観察する力が養われる。

